

企画展

彩る石たち

もの が たり 編



古今東西、さまざまな物語を彩ってきた石や鉱物の数々を紹介いたします。

と き 1月25日(土)～4月5日(日)
 ところ 3階展示室
 ※要展示室観覧料

生命の海から

学芸員 森 浩嗣

クジラの頭はモンスター？

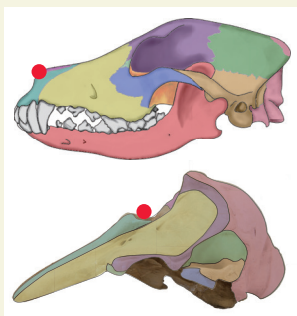
クジラ化石の研究者の方に「クジラに比べれば、恐竜の頭骨なんてまだ地味」と言われたことがあります。皆さんはクジラの頭骨を見たことがありますか？

クジラやイルカは海で暮らしていますが、人間と同じ哺乳類です。彼らは海で生活するために、いろんな機能を頭骨に詰め込みました。図のように、イルカの仲間であるスナメリと犬の頭骨を比べると、とても大きく変形しているのが分かります。これだけ形が違つくと、同じ哺乳類の頭とは思えませんね。イルカの頭骨を見つけた昔の人は、カラス天狗のドクロと勘違いしたのではないかという話があります。が、納得です。

最も大きな違いは鼻の穴です。海で生活するために、海面上に頭を完全に出さなくても呼吸ができるよう、鼻の穴が口先から頭の上に移動しています。また、ハクジラの仲間には自分で出した音の反射

音を聴くことで、光の届かない海の深い場所でも周りの様子や餌のありかを調べる「エコーロケーション」能力を持っているので、そのため器官を納めるためのへこみが、頭骨の上辺りにあります。とはいえ、水の抵抗を少なくするため、なるべく頭の形を流線型に近い形にしておく必要があるのです。頭骨の形をあまり自由に進化させることができません。そんな理由から、クジラの頭骨はとても面白い形に変化していったのでしょう。

そんなモンスターにしか見えないクジラやイルカの化石、そしてスナメリの頭骨を、科学館の特別展にて現在展示中です。3月1日まで公開していますので、ぜひ見に来てください。



犬の頭骨(上)とスナメリの頭骨(下)
 ●赤点は鼻の穴の位置
 プシメック・マクシム

2月 イベントカレンダー

- 1** 科学ふしぎ発見!
 - 2** 神がかった紙の秘密
 - 8** 出張ここにこ!じぶんの古代の生物をつくらう
 - 9** 展示解説 「魅惑のアノマロカリス」
 - 11** 水の惑星地球を救え! ぐるぐるトルネード実験
 - 15** キンギョなどすくい
 - 16** 小学校低学年向けかがく工作室 人々の折りし土俵をつくらう
 - 20** 一般科学講座 第3部 大人の理科授業ユーリカ!
 - 22** おはなしライブ コップ入れに絵をかこう
 - 23** 展示解説 「皇帝クジラ・忍者イルカ・勇魚クジラ」
 - 24** お手軽に海そうアート!
 - 29** 講演会 「東海昆虫研究会普及講演会」サイエンスカフェ 「最強生物クマムシのひみつ」
- 木工工作 2月1・2日開催
- 各イベントの時間・定員・参加方法などは科学館ホームページでご確認ください。